

美術科 1年

はじめに

私たちは生活の中で、たくさんの色や形と出会っています。身近には自然や動植物、日用品や装飾品、風景や建築など、美しいものやデザイン的に優れたものがたくさんあります。より美しいものや良いものを発見することは、感動する心を育てることであります。

自分が発見したり感じたことから、発想や想像をひろげて自己表現したり、すぐれた造形作品を鑑賞することで、心豊かに生きていく力を育てていく大切な学習です。

それは、自分や他者、身の回りの世界に対する見方や感じ方、考え方を学ぶ貴重な体験になります。たくさんの作品や作家、共に学ぶ仲間とのつながりの中で、互いの考えや感じ方の違いに気づき、認めながら、自分自身を見つめ、つくっていく教科です。

表現や鑑賞を通して、世の中や人間(自分自身や他者)について考える、これこそが美術を学ぶ意義です。

主な年間計画

1学期	絵画：素描 デザイン：文字のデザイン	素描を楽しむ (校外学習スケッチ他) レタリング(明朝体) 色の学習(ポスターカラー彩色の基礎)
2学期	デザイン：色彩構成①	自然物からの構成 (構成美の要素・配色の工夫)
3学期	工芸：木彫	木彫の技法(浮き彫り他)

教科の先生からのアドバイス

- ・ 授業の受け方について
 - ・ いろいろなものを見る感じる
 - ・ 美術は特別なものではなく、どこにでもあることに気づくことから始まります。
 - ・ 授業の時間だけでなく、登下校や休み時間、休日や休暇、毎日の生活の中で、美しいものや楽しいものを発見することが大切です。
 - ・ いつでも美術、どこでも美術です。
- ・ 真剣に授業に取り組む
 - ・ よいものをつくりたいという気持ちがよりよいものを生み出します。それは上手い下手ではなく、一生懸命取り組むからこそ自分自身の心に残る大切な作品になるのです。上手いから美しいのではなく、一生懸命だから美しい。心をこめるからこそ、よいものが生まれるのです。
- ・ 作品や道具、身の回りのものを大切に扱う
 - ・ 授業で生まれた作品は、一人一人が違うように、一つ一つが違います。自分の作品も他人の作品も大切に扱うことは、自分も他人も大切にすることでもあります。生み出された作品や身の回りも物(道具や材料)を大切にすることが基本です。制作過程のスケッチや感想、作品は、自分がその時感じたことが残っています。返却された後も大切に保管したり、飾ったりしましょう。
- ・ 家庭学習について
 - ・ 美術館や作品展に出かけるなど、本物に触れる機会をもちましょう。
 - ・ 日本や世界の世界遺産(歴史・文化・自然)に関心を持ちましょう。
 - ・ 日頃から様々なことに興味関心をもち、調べるなど、しっかり準備しよう。
- ・ 評価について
 - ・ ①関心意欲態度：授業態度・作品の期限内提出・制作に対する積極性
 - ・ ②発想構想：アイデアの工夫・表現内容の工夫
 - ・ ③技能：知識や感覚を生かした技能表現・制作手順にそった計画的な作業能力
 - ・ ④鑑賞：文化遺産や芸術作品を鑑賞し、その良さを感じとる力
 - ・ 生徒作品を鑑賞し、制作意図を理解し、次に活かそうとする力

美術科 2年

はじめに

私たちは生活の中で、たくさん色や形と出会っています。身近には自然や動植物、日用品や装飾品、風景や建築など、美しいものやデザイン的に優れたものがたくさんあります。より美しいものや良いものを発見することは、感動する心を育てることであります。

自分が発見したり感じたことから、発想や想像をひろげて自己表現したり、すぐれた造形作品を鑑賞することで、心豊かに生きていく力を育てていく大切な学習です。

それは、自分や他者、身の回りの世界に対する見方や感じ方、考え方を学ぶ貴重な体験になります。たくさんの作品や作家、共に学ぶ仲間とのつながりの中で、互いの考えや感じ方の違いに気づき、認めながら、自分自身を見つめ、つくっていく教科です。

表現や鑑賞を通して、世の中や人間(自分自身や他者)について考える、これこそが美術を学ぶ意義です。

主な年間計画

1学期	デザイン：色彩構成②	文字のイメージ構成 夏の課題(ポスター制作に向けて) 鑑賞「ポスター表現」
2学期	デザイン絵画：立体絵画	モダンテクニックからの構成 (様々な技法を生かした表現の工夫)
3学期	工芸：日本の美意識	スクラッチアートタイル 鑑賞「琳派」

教科の先生からのアドバイス

- ・ 授業の受け方について
 - ・ いろいろなものを見る感じる
 - ・ 美術は特別なものではなく、どこにでもあることに気づくことから始まります。
 - ・ 授業の時間だけでなく、登下校や休み時間、休日や休暇、毎日の生活の中で、美しいものや楽しいものを発見することが大切です。
 - ・ いつでも美術、どこでも美術です。
- ・ 真剣に授業に取り組む
 - ・ よいものをつくりたいという気持ちがよりよいものを生み出します。それは上手い下手ではなく、一生懸命取り組むからこそ自分自身の心に残る大切な作品になるのです。上手いから美しいのではなく、一生懸命だから美しい。心をこめるからこそ、よいものが生まれるのです。
- ・ 作品や道具、身の回りのものを大切に扱う
 - ・ 授業で生まれた作品は、一人一人が違うように、一つ一つが違います。自分の作品も他人の作品も大切に扱うことは、自分も他人も大切にすることでもあります。生み出された作品や身の回りも物(道具や材料)を大切にすることが基本です。制作過程のスケッチや感想、作品は、自分がその時感じたことが残っています。返却された後も大切に保管したり、飾ったりしましょう。
- ・ 家庭学習について
 - ・ 美術館や作品展に出かけるなど、本物に触れる機会をもちましょう。
 - ・ 日本や世界の世界遺産(歴史・文化・自然)に関心をもちましょう。
 - ・ 日頃から様々なことに興味関心をもち、調べるなど、しっかり準備しよう。
- ・ 評価について
 - ・ ①関心意欲態度：授業態度・作品の期限内提出・制作に対する積極性
 - ・ ②発想構想：アイデアの工夫・表現内容の工夫
 - ・ ③技能：知識や感覚を生かした技能表現・制作手順にそった計画的な作業能力
 - ・ ④鑑賞：文化遺産や芸術作品を鑑賞し、その良さを感じとる力
 - ・ 生徒作品を鑑賞し、制作意図を理解し、次に活かそうとする力

美術科 3年

はじめに

私たちは生活の中で、たくさんの色や形と出会っています。身近には自然や動植物、日用品や装飾品、風景や建築など、美しいものやデザイン的に優れたものがたくさんあります。より美しいものや良いものを発見することは、感動する心を育てることであります。

自分が発見したり感じたことから、発想や想像をひろげて自己表現したり、すぐれた造形作品を鑑賞することで、心豊かに生きていく力を育てていく大切な学習です。

それは、自分や他者、身の回りの世界に対する見方や感じ方、考え方を学ぶ貴重な体験になります。たくさんの作品や作家、共に学ぶ仲間とのつながりの中で、互いの考えや感じ方の違いに気づき、認めながら、自分自身を見つめ、つくっていく教科です。

表現や鑑賞を通して、世の中や人間(自分自身や他者)について考える、これこそが美術を学ぶ意義です。

主な年間計画

1学期	絵画：素描 デザイン絵画：ペン画	修学旅行の思い出 (スケッチ他) 心のスケッチ(投影図法や透視図法)
2学期	デザイン絵画：アルバム	卒業アルバム制作 (デザイン絵画技法の集大成)
3学期	工芸：篆刻	印を彫る 彫刻の技法

教科の先生からのアドバイス

- ・ 授業の受け方について
 - ・ いろいろなものを見る感じる
 - ・ 美術は特別なものではなく、どこにでもあることに気づくことから始まります。
 - ・ 授業の時間だけでなく、登下校や休み時間、休日や休暇、毎日の生活の中で、美しいものや楽しいものを発見することが大切です。
 - ・ いつでも美術、どこでも美術です。
- ・ 真剣に授業に取り組む
 - ・ よいものをつくりたいという気持ちがよりよいものを生み出します。それは上手い下手ではなく、一生懸命取り組むからこそ自分自身の心に残る大切な作品になるのです。上手いから美しいのではなく、一生懸命だから美しい。心をこめるからこそ、よいものが生まれるのです。
- ・ 作品や道具、身の回りのものを大切に扱う
 - ・ 授業で生まれた作品は、一人一人が違うように、一つ一つが違います。自分の作品も他人の作品も大切に扱うことは、自分も他人も大切にすることでもあります。生み出された作品や身の回りも物(道具や材料)を大切にすることが基本です。制作過程のスケッチや感想、作品は、自分がその時感じたことが残っています。返却された後も大切に保管したり、飾ったりしましょう。
- ・ 家庭学習について
 - ・ 美術館や作品展に出かけるなど、本物に触れる機会をもちましょう。
 - ・ 日本や世界の世界遺産(歴史・文化・自然)に関心をもちましょう。
 - ・ 日頃から様々なことに興味関心をもち、調べるなど、しっかり準備しよう。
- ・ 評価について
 - ・ ①関心意欲態度：授業態度・作品の期限内提出・制作に対する積極性
 - ・ ②発想構想：アイデアの工夫・表現内容の工夫
 - ・ ③技能：知識や感覚を生かした技能表現・制作手順にそった計画的な作業能力
 - ・ ④鑑賞：文化遺産や芸術作品を鑑賞し、その良さを感じとる力
 - ・ 生徒作品を鑑賞し、制作意図を理解し、次に活かそうとする力